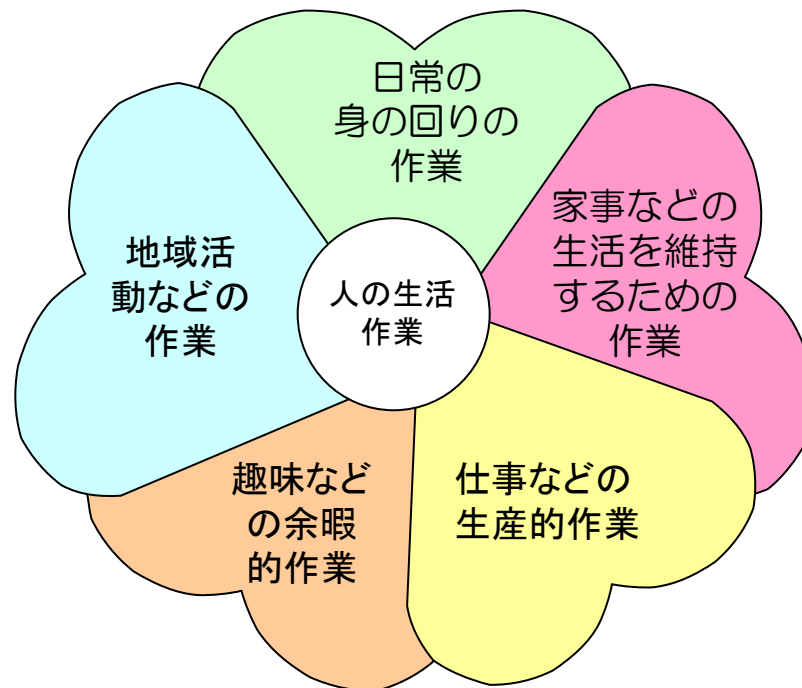


平成21年度老人保健健康増進事業

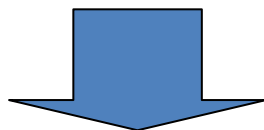
「自立支援に向けた包括マネジメントによる総合的なサービスモデル調査研究事業」

「その人にとって意味のある ”作業”」に焦点を当てた支援 ～包括マネジメント～



これからの高齢者支援のあり方～提案～

- 高齢期は、自らの作業の作り直しの時期
- 生き生きとした人生を送るためには、
その人にとって意味のある作業の継続が大切
- 寝たきりや介護が必要な状態、がんのターミナルでも
満足だ、健康だと思える支援が求められる。

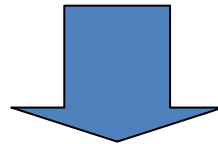


「健康寿命」から「健康感(QOL)」へ

今回の研究事業でも・・・

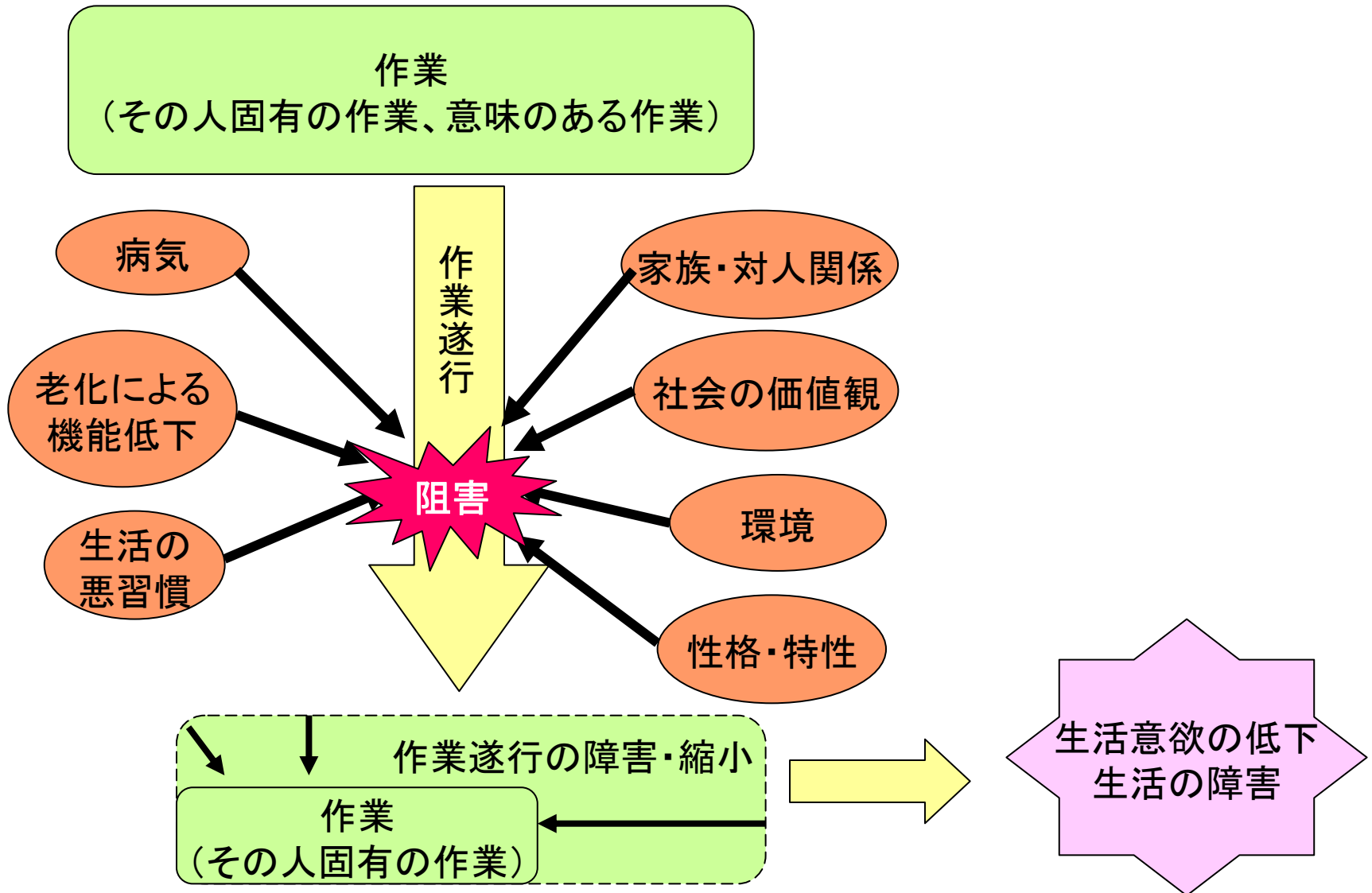
- ・病院に入院する前に家事や外出などの手段的日常生活活動（IADL）や社会参加が低下している者がいた

人の生活は社会参加からIADL、ADLと順に低下するとの報告がある。



IADL、社会生活の低下を予防することが重要

作業障害の考え方



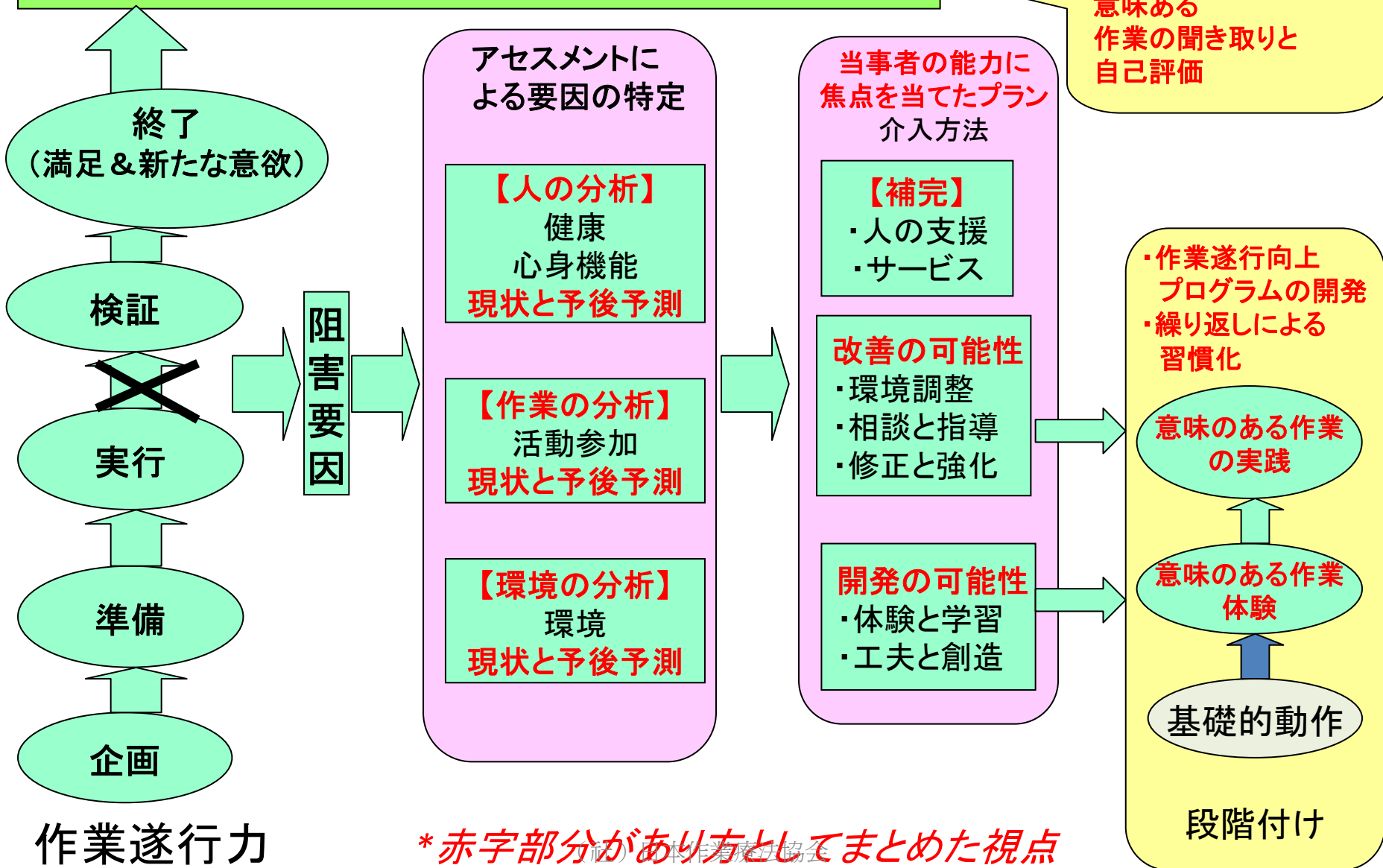
包括マネジメントの考え方

高齢者個々にとって、「意味のある作業」に
焦点を当てた支援

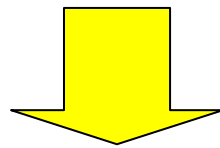
高齢者の持てる能力を引き出す包括支援のあり方(作業療法的支援)

人の生活=その人にとって意味のある作業の集合体

作業聞き取りシート
意味ある
作業の聞き取りと
自己評価

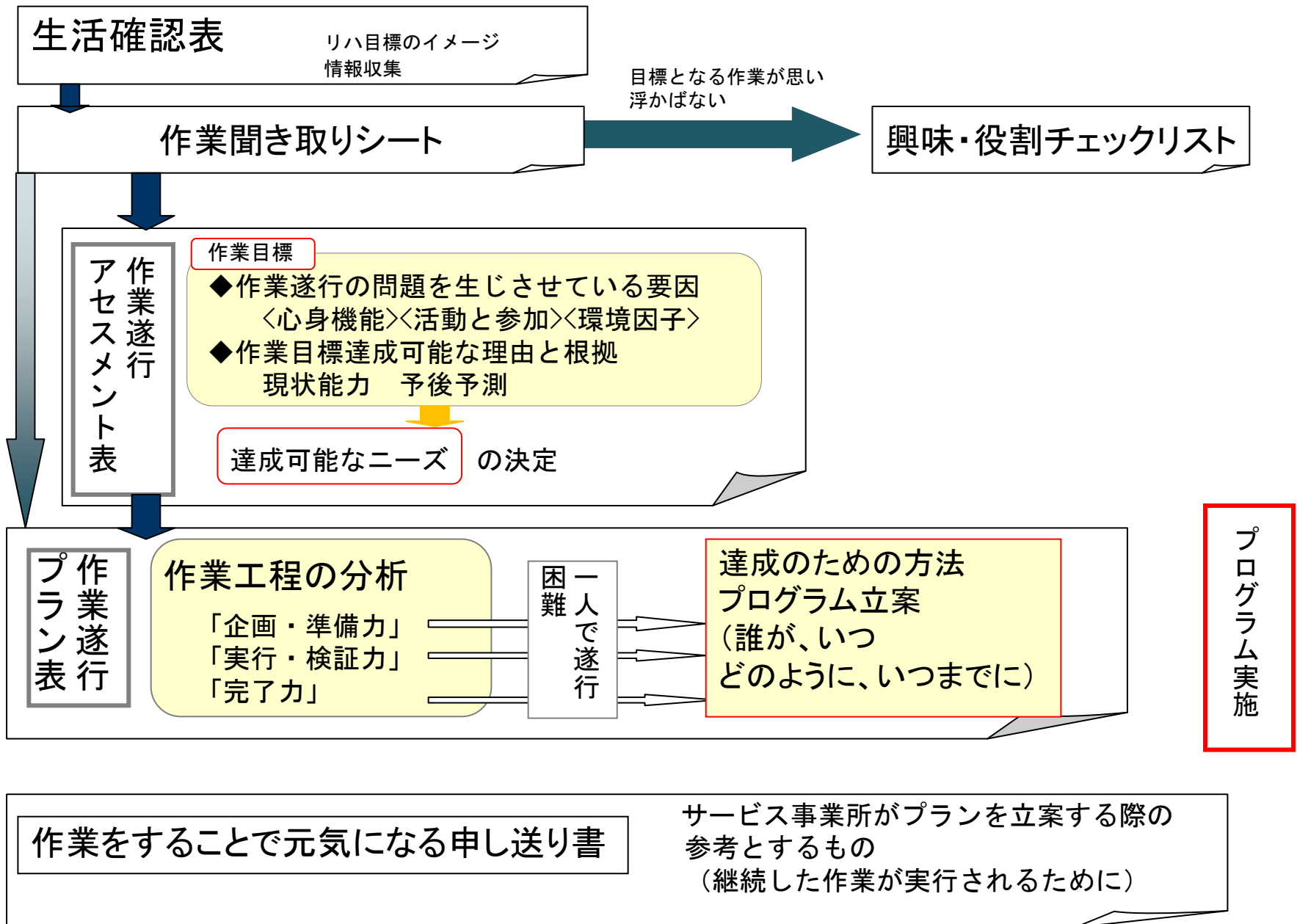


- ①人を心身機能などのパーツで理解するのではなく、心身機能から人生まで生きる上で営まれる作業をする人として捉えるという包括の視点
- ②入院前の生活から退院後の生活まで一貫した患者の生活を理解し支援するという包括的なアプローチの視点
- ③作業の継続という個の活動から地域の社会資源の活用までを幅広く捉える包括の視点



包括マネジメントツールを開発、その効果を検証

包括マネジメントの流れ



元々の作業の遂行状況を把握する

生活確認表

- ・ 目指す生活の目標を推察する上で重要な情報
- ・ 対象者の希望する生活・作業を把握する手がかり
- ・ 目指す支援目標

	No	質問項目	回答		(特記事項)
一般健康状態	1	痛いところや調子が悪いところがありましたか。	あった	なかった	
	2	深く心配なことはありましたか。	あった	なかった	
	3	食事は毎日美味しく食べていましたか	なかった	いた	
	4	夜は良く眠れていましたか。	なかった	いた	
	5	お通じは定期的にありましたか。	なかった	あった	
		(コメント)		15	15
身辺処理	6	立ち・座り、階段の登り・降り、室内歩行に支障はありましたか。	なかった	あった	
	7	家の周囲(約1km)を歩くのに支障はありましたか。	なかった	あった	
	8	食事をするのに支障はありましたか。	なかった	あった	
	9	トイレ(排尿・排便)をするのに支障はありましたか。	なかった	あった	
	10	着替えや身だしなみをするのに支障はありましたか。	なかった	あった	
	11	お風呂に入るのに支障はありましたか。	なかった	あった	
	12	その他、特に不具合なこと、不都合なことはありましたか。」	なかった	あった	
		<コメント>		17	17
I A D L ・ 趣味 ・ 社会参加	13	お金の支払や薬の管理は、ご自分でしていましたか。	いない	いた	
	14	服装や身だしなみには気を配っていましたか。	いない	いた	
	15	新聞や雑誌、本などを読んでいましたか。	いない	いた	
	16	日記や手紙など字を書かいていましたか。	いない	いた	
	17	近くの店に買い物に行っていましたか。	いない	いた	
	18	家のことを何かしていましたか。(例、掃除・調理・洗濯・留守番)	いない	いた	
	19	何か好きなことはありましたか。好きなことをしていましたか。	いない	いた	
	20	自家用車やタクシー、バスや電車などで他の市町村まで出かけていましたか。	いない	いた	
	21	家族とお話しをしていましたか。	いない	いた	
	22	ご近所やお友達のところを訪ねていましたか。	いない	いた	
	23	地域や世の中の動きについて関心がありましたか。	いない	いた	
	24	地域の集まりに参加していましたか。(例、お祭り、老人会など)	いない	いた	
	25	地域で何らかの役をしていましたか。(役員、ボランティアなど)	いない	いた	
	<コメント>		13	13	

(社)日本作業療法協会

不調・不具合項目

/25

その人にとって意味のある作業を把握する

作業聞き取りシート

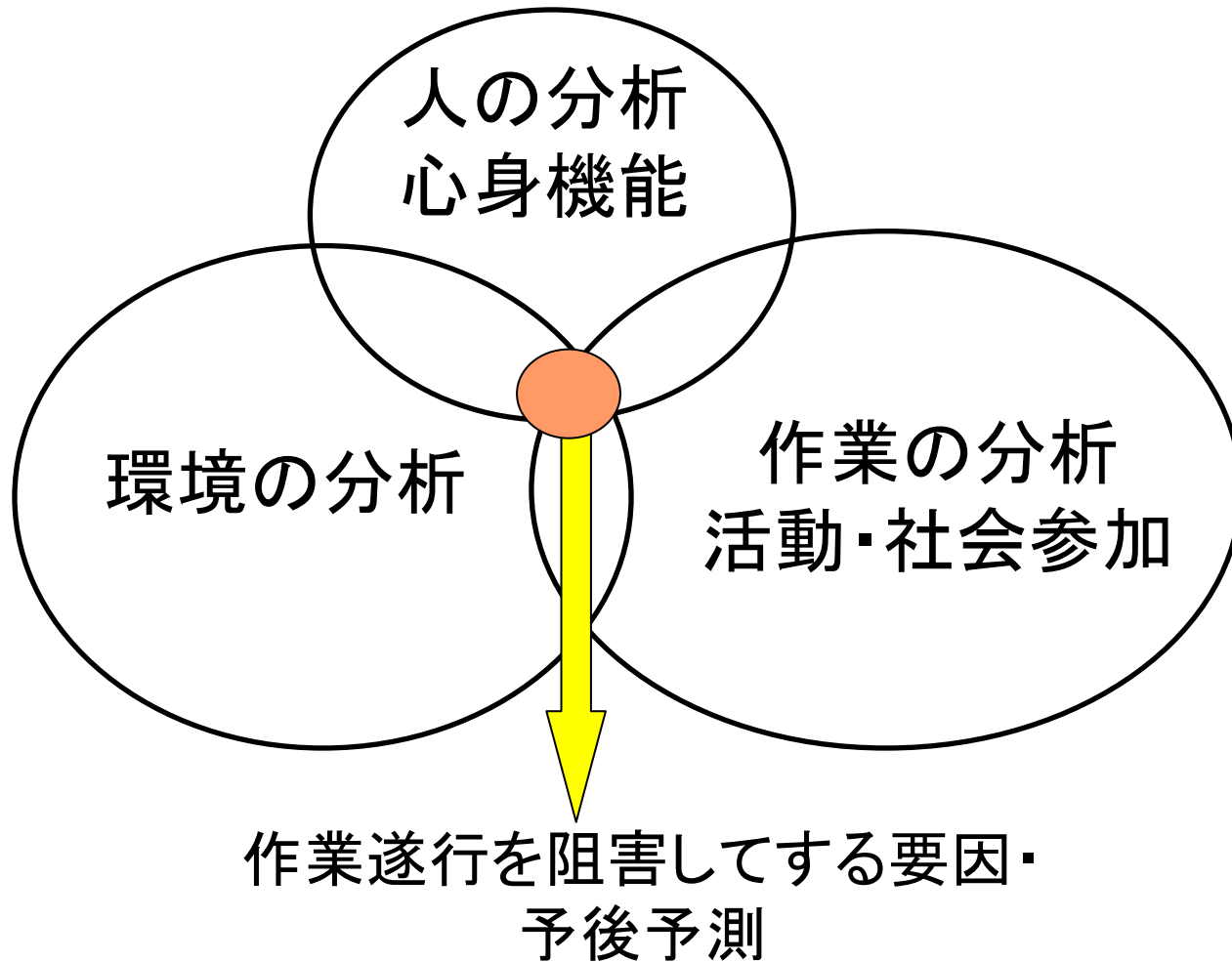
- 1 あなたが困っているまたは問題を感じている
(もっとうまくできるようになりたい、あるいは、うまくできるようになる必要があると思う) 事柄で、良くなりたい、改善してみたいと思う事柄がありましたら、3つほど教えてください。
- 2 次に、それぞれについて今の自分はどのくらいうまくやれているか(遂行度)と、そのやり方にどのくらい満足しているか(満足度)を1~10点の範囲で思う点数をお答えください。
とてもうまくできている場合遂行度10点、
とても満足している場合満足度10点です。
まったくできない場合遂行度1点、
まったく不満である場合満足度1点です。



まったく思いつかない場合は興味・役割チェックリストへ

作業の遂行を障害している要因を特定する

作業遂行アセスメント



作業がうまくできるために

作業

企画・準備力

PLAN

どのように作業をどこでどのように行うのかという段取りとその作業を行うために必要な物などを用意する、リスクを推測する力

実行力

DO

実行する力

検証・完了力

SEE

実行の結果でさらに完成に結びつけるために修正する、うまくいったかどうかを検証する最後に作業が完成し、後かたづけをする、それを正しく評価し、次の新たな作業に結びつける

「一人で行えるのか」「環境を変える、手がかりがあればできるのか」
「練習によってできるのか」「手助けが必要なのか」の大きく4段階で評価

作業遂行能力(うまくできるための能力)を高めるための具体的支援方法

開発

新たな能力、方法の提示、指導

改善

能力を高めるための練習、環境を調整する

補完

できない場合サービスを調整する

支援計画

本人、家族、その他の支援者

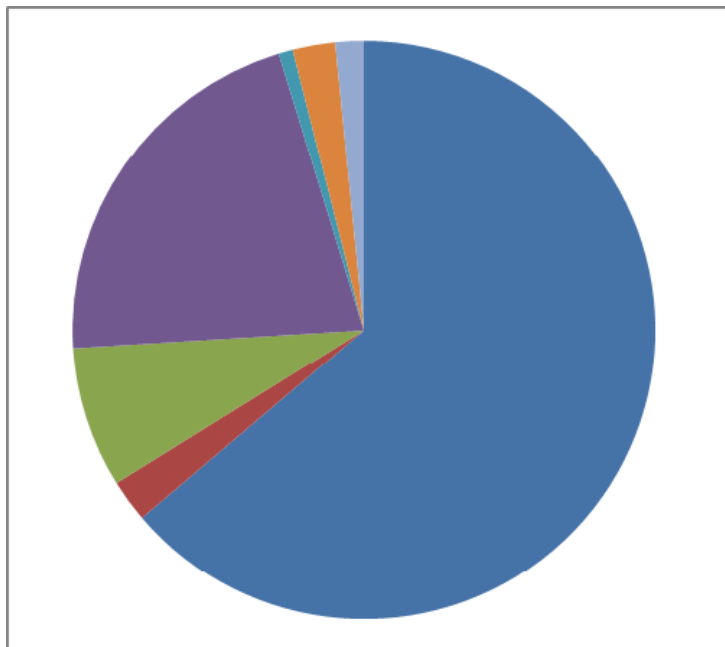
「いつ」「どのように」「何をするのか」「いつまでに」

具体的練習方法

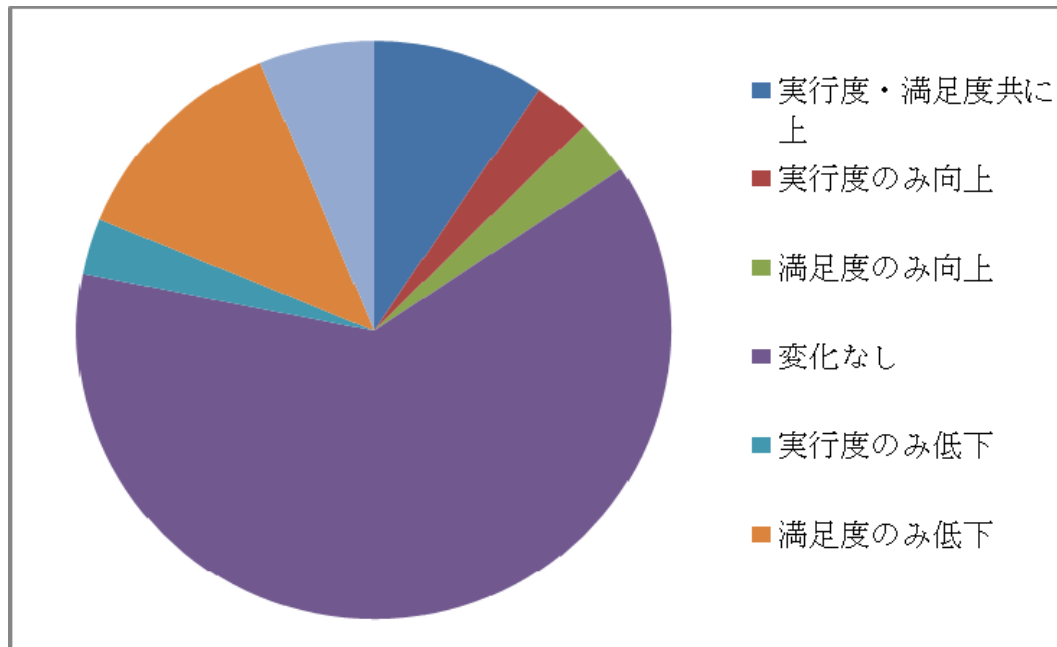
以下の練習を段階づけて実施している。

- 1) 基礎練習：筋力向上トレーニング、ROM訓練、巧緻性訓練、協調性訓練、ストレッチなど
- 2) 基本練習：立ち上がりなどの基本動作訓練、歩行訓練、トイレ動作練習など
- 3) 応用練習：散歩、料理、書道、畑、トイレ行為、更衣練習など
- 4) 社会適応練習：自宅での調理、掃除練習、公共交通機関利用練習など

実行度・満足度の応用プログラムの有無による 介入前後の差



応用プログラムあり



応用プログラムなし

新たなサービスのあり方の提案

これからは、がんのターミナルでも
要介護5になっても、国民が健康だと
思えるサービスのあり方を提案したい。

そこに作業療法が有効ですよ。

「作業をすることで元気になれますよ!!!」